

新藥百品考 前篇 下

特279-205 字 279
1200501132097 205

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5

始



特 279
205

新藥百品考初編卷之下

侍醫法眼 坪井良信良譯述

古設尼爾列 第五百五十六品

往時ハ磨蕪散ノ染料ニ用クルノミ、近來有力
衝動發汗劑タルヲ知ル、病毒ヲ排泄シ、蒸氣ヲ
催進シ、惡性神經熱腐敗ニ傾ク者、發斑熱、流行
疫、尿道慢性疾患、生殖器衰弱、又百日咳、痙攣咳
ニ功アリ

用法 毎用四分ハ、一半ハ一ハ

方例 古設尼爾列 十ハ 炭酸曹達、或ハ炭酸剝

薦亞斯 一刃 橙花舍利別 八錢 或ハ温湯 三十
和ス、小兒ニハ每用一茶匙、大人ニハ一食匙、一
日四回、

炭酸曹達、若クハ炭酸剝薦亞斯ハ、此紅料ヲ溶
解シ、一種ノ集合ヲナシ、妙効ヲ生スト見ユ、最
モ純精酒石ヲ用フルヲ佳トス、

古設尼兒列ヲ藥用ニ供スルニハ、鉛分ヲ混
セサル者ヲ撰ヒ用フハ、好尚其重量ヲ增
多センカ為ニ、鉛ノ細剝屑ヲ混シ、震蕩シ、後
兼粉ヲ和スルコトアリ、謹テ質品ヲ用フルコト

古埤乙澀 第百五十七品

阿芙蓉中ニ存スル亞爾加里塩ナリ、

功能 從來試驗諸家説ヲ異ニス、或ハ曰ク單
純鎮定催睡ニシテ、疲勞衰弱ヲ遺サス、血液逼
進閉塞ヲ生セス、神經ニ異効ヲ奏ス、或ハ曰ク
其量五匹六匹ナレハ、神經ヲ刺戟シ、一時機能
亢起シ、次テ抑鬱、不快、頭痛ヲ發ス、蓋シ其功莫
爾比澀ニ比スレハ、大ニ弱シ、其一ハハ莫尔比
或ハ曰ク阿芙蓉ヨリハ劣レリト、

主治 腹部神經痛上腹ニ達シ、胸脇ヨリ背ニ
 迫リ、上部ニ蔓延シテ、灼クカ如キヲ覺エ、煩悶、
 呻吟、心悸動等ノ症ヲ兼ル者、阿芙蓉液ヲ用ヒ
 テ功ナキ者ニ賞用ス、胃腸ノ粘液膜、神經性刺
 衝、慢性腸胃病ニ功アリ、顔面痛、又諸痙攣症ニ
 用ス、
 用法 毎用四分ハノ一半ハ至二ハ、散或ハ丸
 トナス、
 結列阿曹篤 第百六十八品
 木村ヲ乾餾シ得ルナリ、煙、煤、帝兒、木醋等ニ存

ス、多クハ樺油ニテ製ス、
 無色油様ノ液ナリ、蜜透シテ煙ノ如キ臭氣ア
 リ、其味侵蝕灼クカ如シ、
 冷水八十分、温湯四十二分ニ溶和ス、列氏十六度ノ温ニ
テ劇シク振蕩スレハ、二箇ノ集合トナル、甲ハ
結列阿曹篤一又四分ノ一、水百分、乙ハ水十分
百分ナリ、能ク亞爾箇兒、亞的兒、醋酸、硫酸素、
 石腦油ニ混シ、又能ク硫黃、沃實、涅、燐、華爾斯油
 類、藍澱、又他ノ色分ヲ溶和ス、又越謨、卵白ノ溶
 液ヲ凝固ス、
 功能 衝動、腐蝕、防腐、止血、

木醋、帝兒、煙煤ノ防腐保存シ、屍體ノ腐敗ヲ防
 ク所以ノ原基ナリ、凡ソ機生體ニハ害アル者
 ナリ、是レ帝ニ卵白質ヲ凝固スルニ由ルノミ
 ニ非ス、之ヲ局部ニ施セハ、固有ノ刺戟アリテ
 腐蝕ス、皮膚、筋纖維ヲ白色ニ焦ラシ、贅肉ヲ消
 滅ス、卵白ヲ凝固スルニ由テ血ヲ止メ、膿ヲ乾
 カス、適宜ニ稀メ用フレハ、補給機能ヲ増進改
 正シ、血球ヲ增多シ、速カニ汚穢ノ膿ヲ變シテ
 良性トナラシム、之ヲ内用スルニ適量ナレハ、
 化ノ臭油、亞的兒油類ノ如ク、輕々收斂シ、組織

ノ變化ヲ防キ、腐敗ヲ止メ、神經脈管ヲ衝動ス、
 大量ナレハ、血液ヲ溶崩シ、神經ヲ麻醉シ、胃腸
 ノ粘液膜痲衝ヲ發ス、

主治 肺勞ニ試用スル諸家説ヲ異ニス、内用
又蒸
氣ヲ吸ト雖、刺衝性ノ者ニ非ス、粘液性又膿
 囊アリテ、過多ノ惡臭膿ヲ排泄スル者、勞瘵ノ
 慢性ニノ粘液漏泄過多ナル症ニハ良効アリ、
 又虛性、出血、肺血、胃血、腸血、子宮血ニ内用ス、又
 經久、虛性、痛風、痿麻質、蜜尿、麻痺ヨリ起ル慢性
 嘔吐、殊ニ古列刺、繚蟲、鹿麻油ニ
合用ス、又慢性神經熱、

神經痛ニ効アリ、外用ハ出血創後出血、鼻血、衄血、血、惡液質、惡臭腫瘍、子宮癌、疑可白帶下、口中腐爛、痔瘡、慢性皮膚疹、微毒性發疹、火傷、凍瘡、疣目、齒痛等ナリ、

用法 内用每服半滴至三滴、一日二三回、漸ク増加ス、丸、散、乳劑、又亞的兒、亞爾箇兒等ニ和用ス、外用或ハ單用、或ハ水、亞爾箇兒ニ和シ稀ム、又擦劑、洗劑等ニハ、脂或ハ油ニ和ス、一刃至三刃ヲ脂ハ入美和ス、軟膏、塗料トナレ腫瘍ノ縛帶ニ施ス、腐齒ニハ木綿或ハ白蒸餅ノ丸子ニ浸シテ齧齒

開ニ挿ム

結列阿曹篤水 結列阿曹篤 一分水 八十一滴

至三滴

結列阿曹篤精 結列阿曹篤 一分銳烈亞爾箇

兒 三分止血劑トス、

巴豆油 第百六十九品

巴豆榨油ナリ、百分中甘油五十五分、峻下分四十五分ヲ含ム、二種アリ、一ハ暗色、一ハ透明ナリ、暗色品ハ泄瀉ノ効峻ナリ、

功能 服後必ス咽喉温ヲ覺エ灼クカ如シ、或

ハ惡心、嘔吐ヲ發シ、疝痛ス、大便溏泄シ、兼テ尿
 通増多ス、神經機能ヲ一變スルヲ以テ、鎮痙ノ
 功アリ、外敷スレハ皮膚ヲ刺戟シ、焮衝ヲ發シ、
 小疹疱ヲ生ス、疱内白液ヲ盈ツ、或ハ稍大ナル
 泡ヲ發ス、以テ誘導法トナスヘシ、腹部臍傍ニ
 塗入スルハ、瀉下ノ効アリ、之ヲ灌腸劑トナス
 ニ其功確實ナラス、賢埶兜麻質法實ニ効アレ
 凡其刺戟極テ峻ナルカ故ニ、妄リニ用ヒ難シ、
 靜脈ニ注入スルニ溏泄ノ効アリ、舌上ニ塗ル
 モ、鼻ニ嗅モ、亦然リ、

主治 頑固便秘焮衝ヲ併セサル者ニ、内外花
 用ス、卒中、假死、腸麻痺、謔妄、鬱憂、石鹼及ヒ乾姜
ヲ和シテトス、
 發狂、鉛毒疝、吐糞病、痙頓脱腸ニ舌上又臍圍ニ
 塗ル、牙關緊急レテ一滴ヲモ嚙下シ能ハサル
 者ニ、外敷レテ能ク便通ヲ促カス、虛性經久水
 腫、腹部閉塞、粘液過多ヲ兼ル者、皮腫、腹水、繸蟲、
 呼吸器疾患、又蔓延神經、咽喉神經、聲音神經ニ
 一異効アリ、慢性焮衝症ノ初ニ溲泄、膿化ヲ兼
 ル者、神經痛、咽喉焮衝、聲啞、咽喉焮衝初期、聖京
 痙、又流行性聖京痙、ヨリ發スル慢性聲啞、痙麻

質性聲啞、百日咳、急性頭水ノ第二期、慢性神經痛、頑固癱瘓、神經性膀胱痛、卒中後又慢性癱瘓、質後ノ麻痺、又肺臟硬結ニハ、胸部ニ塗入ス、二十滴至二十四滴、頗ル呼吸促進ヲ緩メ、夜間ノ煩悶ヲ寛メ、又熱ヲ減ス、

用法、六分滴ノ一半滴、毎二時若クハ一時之ヲ與ヘテ効ヲ見ルニ至ル、全量一滴ヲ頓服糖或ハ越護ニ和シ、錠又丸トナス、或ハ粘滑液、舍利別、扁桃油ニ和シ、乳劑トナス、臍圍ニ塗テ下利ヲ要スルニハ、五滴十滴至三十滴、少許ノ扁

桃油、或ハ帝列並油ニ和ス、灌腸劑ニハ一滴至三滴、亞麻仁油ニ和ス、引赤誘導法ニハ二滴至二十滴、阿列襪油、或ハ帝列並油ニ和ス、宜ニ應シテ再三之ヲ施スヘシ、

巴豆油、巴豆油 五錢 醫典埜剝篤亞斯酒十錢ニテ製ス、半匁至三匁、水或ハ糖ニ和シ、又丸トナス、

巴豆油、巴豆油 一滴 薄荷水八錢 舍利別八錢 雞子黃少許ヲ和シ、毎二時半食匙至一食匙、

巴豆油糖劑 巴豆油 一滴 桂油糖劑 一錢 每服

十八至三十分

巴豆油擦劑 巴豆油 四滴 炭酸曹達 十分 薄荷

精 四錢 僕麻質ニ塗入シテ効アリ、

實芙蓉里涅 第九十八品

極テ毒アリ、實芙蓉里斯中ノ最有力分ナリ、

主治 脈管系ノ機能亢起ヲ減少ス、然レモ其

奏効遲徐ニメ、或ハ數日ノ後始テ見ルヘキ者

アリ、故ニ之ヲ用フルニハ、謹慎精密ナルヘシ、

用法 毎用三十二分ハノ一過爾答末、或ハ他

ノ粘滑粉末ニ和シ丸トスルヲ佳トス、

越點質涅 第九十三品

吐根及ヒ其同屬草根中ニ存スル亞爾加里塩

ナリ、精製品ハ白色ノ粉末ナリ、外氣ニ觸テ變

セス、無臭、微苦、催嘔ノ味アリ、十六分ハノ二、十

六分ハノ三ニテ、既ニ効アリ、稍時ヲ經テ、更ニ

十六分ハノ一ヲ與フルト一二回、峻劑ノ吐劑

ナリ、同量ノ醋酸、或ハ酒石酸、是レ越點質涅ヲ

リ、糖少許水ヲ和シ用フ、不淨品ハ二分六分ニ

テ吐テ發ス、或ハ曰ク十分ハノ一至半ハヲ浸

劑トナシ用フ、肺ノ慢性聖京候、百日咳、慢性下
 利ニ効アリ、
 皮上ニ塗入スレハ、疼痛アル小疹無數ヲ發ス、
 然レモ膿化セス、又痕ヲ遺サス、故ニ吐酒石發
 疹方ヨリハ勝レサトス、之ヲ面部ニ施スモ可
 ナリ、越點質涅十五ハ、火酒十五滴、此膏ハ肺患、
 脂四錢、調和シ、擦劑トナシ、
 神經性心悸動、痲麻質疾患ニ偉効アリ、吐及ヒ
 嘔ヲ發スルコトナシ、擦入スルコト一日二回、
 鐵沃實涅 第二百一十一品
 多量ノ鐵ニ、沃實涅ト、水トヲ注キ製ス、

灰白帶綠ノ結晶、塩ナリ、外氣ニ觸テ、速ニ融解
 分拆ス、甘様、收發、沃實涅ノ後味アリ、水、酒精ニ
 溶和シ易シ、
 功能 沃實涅ト鐵トノ功ヲ兼ヌ、強壯、解凝、收
 斂、細脈管系ノ機能ヲ奮起シ、消化機ヲ盛ニシ、
 二便ヲ通利ス、大量ニテハ、胃ノ粘液膜ヲ刺
 戟ス、
 主治 全身衰弱、則知覺機、補給機、刺衝機ノ衰
 弱ナリ、灰白鹽、血液變敗、諸筋弛緩、故ニ腺病、腸
 間膜腺閉塞、勞瘵狀腸間膜腺脈衝、滋養過多ノ

頑癬、腺毒性頭瘡、肺勞、珠_ニ結節勞、他ノ肺病、血液減少衰弱、_ル人、咯血、氣管滲液、慢性肺勞、萎黃病、經閉、月經不順、腸間膜腺、肺臟閉塞、合併ノ者、白帶下、淋疾、局部及ヒ全身微毒、無熱、癩麻質、水腫、失苟兒、陪苦出血、脾膨腫、慢性焮衝諸患、虛性經久腫瘍、骨疽、癌腫、辜丸硬結、諸部慢性腺腫、小兒發疹等ニ用フ、
 外用、子宮白帶下、淋疾ノ注入法トス、慢性微毒腫瘍、諸般ノ皮病等ニハ、蒸劑又軟膏トス、
 用法 二人至六人、水或ハ酒精ニ溶和ス、散又

九トナス、此製劑經日ノ者ハ用フル_ト勿_レ、又舍利別、糖ノ外ハ、他品ニ配スル_ト勿_レ、外用半莖至一莖、脂八莖ニ和ス、或ハ半莖至一莖、餾水六十四莖、九十六莖ニ溶カス、又洗劑、蒸劑、注入法、浴法トナス、_{十六莖ヲ一浴ノ量トス、}
 肝油_分 第百三十七品
 肝油_分 六百 鱈典_分 堙曹_分 達_分 八十 水_分 二十_ニ成ル、亞爾加里ヲ用ヒス、肝油劑ノ最佳方トス、單ニ油ヲ用フルカ如ク、不佳ノ氣多カラス、而シテ總テ肝油ヲ用フヘキ諸症、殊ニ慢性皮病ニ良ナリ、

外用 癩麻質疼痛、腺病、關節麻痺ノ擦劑トス、
用法 内用 丸トナスヲ最佳トス、則チ少許ノ
達刺侃、薦藎、誤ヲ和シ、蜂蜜ニテ濕シ、又藎、誤末
ニ旋轉シ、衣トナス、無臭ナリ、三氏至四氏ヲ一
粒トス、一日四十九至六十九、

健質亞尼涅 第二百四十一品

健質亞那根中ノ結晶分ナリ、單純ナル者ハ、無
味ナリ、故ニ健質亞那ノ苦味質トハ自ラ異ナ
リ、其純ナラサル者ハ、芳香ニノ極テ苦味ナリ、
但シ其功ハ異ナラス、

黄色ニノ輕キ長針狀ナリ、

冷水ニハ殆ント全ク溶ケス、沸湯ニハ多ク溶

ク、酸類、亞爾加里性水ニモ溶ク、亞爾崗兒、亞的

兒ニハ稍難シ、

功能 純精健質亞尼涅ハ其功大ニ健質亞那

ニ異ナリ、但シ健質亞那ニハ、苦味質其最力ノ

成分タレハナリ、然ルニ其功ヲ稱スル所ノ許

多ノ試験ハ、恐クハ純精ナラスノ、健質亞那ノ

苦味分ヲ帶ヘル健質亞尼涅 健質亞那苦味質ト稱ス、 由

ル者ナルヘシ、

主治 腺病性敗液、又胃弱、

用法 一匁至四匁、一日一二回散或ハ丸トス、

丁幾劑 健質亞尼涅五匁ヲ亞 每服一滴二滴、

舍利別 健質亞尼涅十六匁ヲ尋常 每服一食匙

人浸 第一百四十三品

支那日本ニ産スル品ハ別種ナリ、其産地ニ隨

テ其色一ナラス、朝鮮支那産ハ白色ナリ、乾燥

スレハ外面清潔ニシテ、大ニ澱粉ニ似タル粉質

ヲ附ス、滿州産ハ黄色ニシテ、滋潤アリ、乾燥スレ

ハ透明琥珀ノ如シ、此品朝鮮産ヨリハ優レリ、

酷厲芳香一種ノ味アリ、

次ニ記スル方ハ、瑪港ニ在住スル社友某氏ノ

示ス所ニシテ、支那人用タル所イ一方ナリ、

方 人參 二匁 乾姜 一匁 水 四ト 煮テ 桂枝 一匁

ヲ泡出ス、三回ニ用フ、

此根産地ニテモ、其價極チ貴ク金ト重量ヲ同

シクス、而シテ無比ノ貴藥トシテ、衝動強壯ノ神經

藥ナリ、東方諸國ニテハ、真誠ノ妙効品ナリト

ノ、衰弱、勞瘵、虛性熱ニ用フ、

越刺斯質加越謨 第一二百四十九品

帶褐黃色、單純清潔、硬クノ彈力アリ、亞爾箇兒

ニハ溶ケス、亞的兒、亞的兒油ニ溶ク、

古來愈創劑トシテ外用ス、近世又内用ニ供ス、

勞瘵及ヒ内藏腺閉塞硬結ニ丸ヲ賞用ス、之ヲ

製スルニハ、温ノタル鐵板上ニテ烱化シ、石松

粉或ハ甘草末ヲ和シ丸ス、勞瘵ニ發スル下利

脱汗ヲ閉止ス、

分量 始メ二匹ヲ一日ノ量トス、漸ク增多ス、

藥刺比涅 第二百七十五品

或ハ曰ク藥刺巴根ノ亞爾加里塩ナリト、又或

ハ曰ク華爾斯分ナリト、故ニ亞的兒ニ非サレ

ハ之ヲ溶クトナシト、恐クハ醋酸ト

性緩ニシテ輕量ナルモ能ク通利ヲ促ス、故ニ便

秘スルノ弊ナク、小兒ニ用フルニ便ナリ、

用法 小兒ニハ每服半匹、大人ニハ一匹二匹、

散トナシテ甘草ヲ配用ス、或ハ肉羹汁ニ和用ス、

丸又溶劑トス、亞爾箇兒少許

沃實涅硫黃 第二百七十八品

沃實涅 八分 硫黃 一分ノ集合ナリ、

暗灰白色ノ結晶ナリ、赤色硫黃安質母ニ同シ、

功能 衝動解疑、沃實涅ト硫黃トノ功ヲ兼ヌ、
 外用スルニ刺戟甚シク、刺痛、赤色ノ疹ヲ發ス、
 主治 遲鈍性ノ皮膚病、珠ニ結節狀ノ者、總皮膚
 腺ノ硬結、膨脹、癩病、疥癬、頑癬、結節癩、環癬、硬結
 贅肉、眼瞼潰爛、結節狀微毒ニ外用シテ偉効アリ、
 軟膏 沃實涅硫黃一錢ヲ肉豆蔻油八錢ニ和
 ス、
 沃實涅硫黃蒸氣 濕性喘息ニ用ヒテ鎮瘧ノ
 効アリ、

内用ニハ一日一匁至六匁、丸トナス、小兒ハ半
 匁至三匁、大人ハ二匁至六匁、
 青酸鐵、刺篤亞斯 第二百八十九品
 大装置ニテハ洋錠ト默他兒鐵トヲ浸出シ、之
 ヲ濾過シ結晶セシム、小装置ニテハ洋錠ト醬
 典埵剝篤亞斯、又炭酸刺篤亞斯トヲ煮テ、濾過
 シ結晶セシム、
 四面ノ大柱狀又片狀結晶ナリ、鮮美橙黃色ニ
 ノ、苦様甘、後塩様味アリ、寒冷氣ニ觸テ變セス、
 水ニ溶ケ易ク、亞爾箇兒ニハ溶ケス、

功能 殆ント毒ナシ、大量亦然リ、但シ大量ナ
 レハ、謐安、寒戰、倦惰、戰震ヲ發ス、鎮痙、消痙、收斂、
 強壯、衝動若シ夫レ實ニ此ノ如キ諸効ヲ併セ有セハ、貴重スヘシ、知覺神
 經機能失宜ニ續發スル溫度増進、疼痛スル者
 ニハ、清涼鎮定ノ功アリ、心動ヲ減少ス、
 主治 此製劑ハ千八百二十年、ブセラ氏創テ
 之ヲ試驗シ、反對刺戟法トナス、後ラウ氏結石ニ賞用シ、
 スマルト氏大ニ次ノ諸症ニ賞用ス、則チ諸般
 ノ疾病ニ於テ、覺機充進シ、脈管運營亢起、殊ニ
 胸内諸藏、腦膜刺衝、喉衝、肺嗽衝、百日咳、羅斯、頭

痛等是ナリ、又神經痛ヲ誘導シ、脈動ヲ減少ス、
 ギュエリン氏ハ昇踏病ニ効アリトシ、左ビエー
 氏ハ顔面痛ニ用ヒ、サクス氏ハ腹部神經諸患
 ニ用フ、又白帶下、脱汗等ニ用ヒテ、強壯、收斂ノ
 効アリ、ウトセル氏ハ眼膏トナシ、眼嗽衝ニ用
 フ、
 石炭油 第三百五品
 石炭ヲ乾餾シ得ル所ノ帝兒稠ノ油ナリ、或ハ
 稍稀シ、黃褐或ハ暗褐赤、蠶透スル臭氣アリテ、
 實百兒油ニ同シ、而シテヒオン、亞的兒、結列

阿曹篤ヲ含蓄ス、

功能 解疑、收斂、緩衝動、吸收ヲ感ニシ、起熱セ
ス、稀ニハ發汗スレモ、下利ヲ起サス、多クハ食
欲ヲ奮起ス、外用ハ少シク刺戟シ、加爾基様剥
脱性ノ皮疹ヲ發ス、

主治 虚性痛風ニハ諸家皆之ヲ賞用ス、蓋シ
顯ニ發熱セス、刺戟セスト雖、健全ノ人之ヲ服
スレハ、必ス消食滋養ノ機能ヲ損ス、痛風ノ慢
性痿麻質ニ類スル者、又發作間歇スル者、關節
焮衝性腫瘍、加爾基排泄、結節、愈着ヲ兼ル者、又

依利昆垚兒、歇私的里、白帶下、痛風ニ原
スル者、又勞瘵
症ニハ熏劑トス、關節ノ經久疼痛腫瘍ニ内外
施用ス、

用法 每服五滴至十滴、酒精ニ和シ、或ハ丸ト
ナス、外用塗擦、一日一二回、

痛風丸 石炭油 硫酸安質母各八 鵝栗拔奴

謨二 蜀羊泉末六 右調勻、每粒二匹ノ丸ト

ナレ、甘草末ヲ衣トス、每服六丸至十九、一日三

回、

慢性腦軟解ヲ治スル方 石炭油 甘草膏各

新藥百品考 初編

甘草末 適宜 右每粒三片ノ丸トナシ、甘草末

ヲ衣トス、毎二時二丸ヲ用ス、大人ノ量

麻瘋涅失亞乳 第三百十二品

單純麻瘋涅失亞ニ義、炭酸麻瘋涅失亞ヲ煨キ、炭酸及ヒ水分ヲ除キ去ル者

水十錢ヲ和シ、陶器ニ入シ、能ク研和シ、乳トナ

シ、手ヲ止メス攪拌シテ煮テ熱セシメ、後火ヲ

下シ、熱ニ乘シテ糖末トニヲ和シ、攪拌シ、濃乳

變シテ稀液トナルニ至リ、之ヲ細密ナル篩ニ

テ瀘過シ、更ニ橙花水、或ハ覆盆子水四錢ヲ混

和ス、之ヲ服スルノ後、一二時ニノ夥シク滑便

ヲ通利ス、又磷毒、殊ニ砒毒、磷毒ヲ消解ス、

用法 十六錢ヲ頓服シ、或ハ朝夕二回ニ分チ

服ス、又毎二時一食匙ヲ與フ、

醋酸莫爾比涅 第三百三十品

功能 獨乙ニテハ、莫爾比涅諸塩劑中、最モ多

ク之ヲ使用ス、總テ此諸劑ハ、其功阿芙蓉ニ同

シ、然レモ刺戟スルノ甚シカラスノ、直チニ亢

起セル覺機ヲ減殺シ、興奮セル諸症ヲ鎮定ス、

腦ヲ刺戟スルノ少ナク、粘液膜、呼吸器ノ分泌

機能ヲ抑壓スルノナク、又發汗セス、

溶劑散、丸、糕、トナス、賢埜兒麻質ニハ、半匁、一匁、
 一日二回、而ノ速カニ增多シ、一匁、三匁、四匁ニ
 至ル、或ハ單ニ表皮ヲ剝離セル部ニ撒ス、但シ
 水ニ和シ、少シク軟トナシ、篋ニテ塗ルヲ佳ト
 ス、之ヲ貼スル部ニ生スル痂ハ、再施ノ時必ス
 剝離スヘシ、

硫酸莫爾比涅 第三百三十三品

功能 微量ニノ、其功速カニ、且ツ確實、而ノ能
 ク久シク消セス、

主治 醋酸莫爾比涅ヲ用フヘキ諸症、皆之ヲ

用フヘシ、賢埜兒麻質ヲ最モ佳トス、

牙關緊急、酒客譫妄、譫妄、神經性胯痛、偏頭痛、百

日咳、嘔吐、胃瘰、淋疾、游走神經痛、啞嘶等、齒痛ニ

ハ、齒齦ニ塗入ス、結膜虛性、焮衝、羞明スル者ニ

ハ、點眼水トス、三匁ヲ水ハ靜脈中ニ注入スレ

ハ、斯葛里規尼ノ消毒品タリ、

用法 每服十六分匁ノ一四分匁ノ一、賢埜兒

麻質ニハ、半匁、

焮衝性痔軟膏 硫酸莫爾比涅 十五 炭酸鉛末

四 八 蔓陀羅華膏 八 阿列機油 適宜 調和軟膏

烟草水 第三百五十五品

烟草新葉ヲ、亞爾箇兒ト、水ニテ餹スルナリ、
腦珠ニ小腦脊髓ノ虛性慢性諸患、頭痛變形、
麻質、腦髓、脊髓、交感諸症、古列刺其原腦髓、脊髓
ニ在ル者、夫レ亞爾箇兒製烟草水ハ、嘔吐、下利
ヲ起サス、却テ之ヲ鎮止ス、
分量 一日夜間、四錢至八錢、
番木鱉亞爾箇兒製越幾斯 第三百五十八品
番木鱉ヲ亞爾箇兒ニテ製スル越幾斯ナリ、此

劑一八ノ功力ハ、尋常越幾斯八八十八ニ同シ、
癲癩、古列刺ニ偉効アリ、
用法 每服八分ハノ一四分ハノ一、一日一二
回、漸ク増加ス、丸或ハ散トス、又亞爾箇兒丁幾
劑ニ和用ス、
糖丸 第三百八十五品

丸ノ衣トスル、新法ニテ、方今佛蘭西ニテ、大ニ
之ヲ賞用ス、則チ丸成ルニ及テ、圓器ニ入レ、水
一二滴、或ハ單舍利別適宜ヲ點シ、器ヲ旋轉シ
テ、丸面普ク少許ノ滋潤ヲ得セシメ、後單越

謨末或ハ油糖ヲ和スヲ少許宛徐々ニ器内ニ入レ、多
ハ糖油糖劑ヲ配用ス更ニ之ヲ旋轉シ、丸面復々之ヲ附
 セサルニ至ル、次テ丸子ヲ外氣ニ曝乾ス、已ニ
 乾クノ後、再ヒ此ノ如クスレバ、更ニ衣ヲ厚ク
 ス、或ハ越謨末糖ニ代ルニ、一ノ合劑ヲ以テス、
 則チ越謨糖澱粉各同量、或ハ宜ニ應シテ香油
 ヲ和ス、此ノ如クスレバ、其衣全ク透明ナラス、
 殊ニ澱粉ヲ和スレハ能ク糖ノ水氣ヲ引クヲ
 防クニ足ル、此法ハ金銀箔ヲ衣トスルヨリハ、
 其價廉ニシ、其用異ナルヲナシ、以テ藥品ノ臭

味ヲ知ル₁勿ラシム、殊ニ越謨衣ハ、胃ニ入テ
 消化シ易ク、胃力ヲ害スル₁ナシ、

塩酸白金 亦三百九十三品

王水ニテ白金ヲ溶シ、水氣ヲ蒸散シ、乾カスナ
 リ、毒アリ、搐搦ヲ發シテ死ス、之ヲ外用スルニ、
 中量或ハ多量十五乃至三十ハ、頗ル大ニ刺戟シ、腐
 蝕シ、組織ヲ害ス、其固有ノ功ハ、黄金ノ如シ、脈
 管神經系殊ニ神經叢ヲ刺戟スル₁、他ノ鑛物ヨリ
 ハ揮發ナリ、而シテ其衝動ノ力ハ、黄金ノ如クニ
 以テ稍緩ナリ、

用法 毎用半匁四分八、一匁ヲ越誤製三、十二匁ニ和シ、毎

用一食匙、一軟膏、和シ、局部浴法、一蒸

日三四回、和シ、鱈水六十四、和シ、

鱈魚肝油 第四百八品

ラヤ、和シ、チヌ魚、及、コラハタ魚、肝油ナリ、

鮮黄ニノ鯨油ノ如キ臭氣アリ、其功大口魚肝

油ノ如シ、但シ稍多量ノ沃實涅ヲ含ムト、厭フ

キノ臭味少ナキヲ以テ、異リトス、

肝油合利別方 糖六、分苦扁桃 五、分越謨末 五、分

鱈魚肝油 十、分橙花水 四、分

大黃素 第四百十八品

大黃根ヨリ製ス、製法數種アリ、色分華爾斯分、

越幾斯分ノ集合ナリ、其諸成分配合比例一十

ナ、最佳ノ方ハ、大黃ヲ亞爾菌兒ニ浸出シ、又

亞爾菌兒製越幾斯ニ水ニ和シ、煮テ華爾斯性

大黃素ヲ取り、冷ユルノ後、更ニ一二回之ヲ精

製シ、乾カスナリ、

攝綿施那亞的兒製越幾斯 第四百十八品

蜘蛛、蟻、等ニ用ヒテ、速カニ功ヲ奏シ、且ツ他害

ナシ故ニ小兒ニ用ヒ易シ、

用法 一歳至三歳ノ兒ニハ、毎用二ハ、五ハ、大

兒ニハ五ハ、十ハ、大人ニハ十五ハ、丸、糕トナス、

又叔蘭刺度ニ和用ス、

撒篤尼 第四百十九品

一種ノ結晶ナリ、攝綿苑那中ニ在リ、斯篤里規

尼ヲ混ニ販ク者アリ、詳ニ純品ヲ撰用スヘシ、

功能 驅蟲ノ効、攝綿苑那ニ同シ、而シテ刺戟ス

ルナリ、

用法 四歳以内ノ兒ニハ、五三ハ、十二歳以外

ノ兒ニハ、五六ハ、散、丸、又叔蘭刺度ニ和用ス、又

糕トナス、珊篤尼糕是ナリ、

麦奴越幾斯 第四百二十三品

麦奴ノ有力分ニメ、毒分ヲ分拆シ去ルナリ、

軟褐赤色佳香アリ、味苦シ、水ニハ全ク溶ク、

功能 大ニ麦奴ニ同シ、心臓及ヒ神経系ノ暴

動ヲ鎮定シ、妊婦ノ子宮ヲ收縮シ、止血ス、

主治 出血ヲ止メ、陣痛ヲ促スハ、實ニ異効ナ

リ、又心病ニ續發スル出血、子宮出血、咯血、吐血、

下血、尿血ニ功アリ、或ハ曰ク神經機能亢起、殊

ニ子宮系、脊椎ヨリ發スル諸疾患、子宮出血、腸

出血、膀胱出血、脾及ヒ肝出血、大ニ注意用ス、肺血、其原脈管弛緩ニ由ル者、又之カ為ニ出血止マサ
 ル者、間歇熱、慢性下利、下肢戰震、白帶下、其原脊
 髓及ヒ腹部神經ノ覺機亢盛ニ由ル者ニ効ア
 り、又遺精ヲ治スル龍腦ヲ配用ス、特效アリト云ヘリ、
 外用ノ止血ス、同ニ止血ス
 用法、每服二匁、四匁、八匁、一日四回、六回、九ト
 ナス、或ハ舍利別ヲ和用ス、每用十五匁、至半匁
 蓮護葉三十二匁ニ和用ス、每二時一食匙、
 外用、十五匁、至三十匁、水四匁ニ和ス、

麦奴油 第四百二十四品

亞的兒ニ浸出スル者、即チ麦奴亞的兒油ナリ、
 無色或ハ少シク色ヲ帶ス、麦奴臭ニシテ、稍爽快ナリ、其味
 酸ニシテ、酷烈ナラス、
 亞爾箇兒、亞的兒、硫炭素、亞的兒油、脂油、結列阿
 曹薦ニ溶化ス、
 功能、麦奴ノ功アル所以ノ原質ナリ、或ハ曰
 麻酔毒アリト、陣痛ヲ催進ス、又痲麻質ニ外用
 ス、每服十五滴、三十滴、六十滴、浸劑又九トナス、
 外用ニハ扁桃油、或ハ硫黃亞的兒一至四匁ニ和

シ塗劑トス、
斯比蘭的斯 第四百三十七品

成分 酷厲亞的兒油、越幾斯分、色分、華爾斯、塩類

功能 衝動、腺病ヲ治シ、吐涎ヲ止ム、

主治 失苟兒陪苦、眼病、齒痛、
丁幾劑、花及ヒ葉ヲ亞爾箇兒ニ浸出スルナ

外用 齒痛ヲ止ム、神經性、喉衝性、痲痺質性、骨疽性、腺病性、齒痛、綿片ニ浸シ、齒間ニ挿ム、又齒

及ヒ齧肉ニ塗ル、又丁幾劑十五滴二十滴ヲ水適宜ニ和シ、二三分時間、口内ニ含ム、

塩酸錫 第四百三十八品
錫一小片 線ヲ最尋常塩酸ニ溶和シ、水氣ヲ蒸

散レテ、結晶セシム、無色、色白透明ノ結晶ナリ、外氣ニ觸テ分拆ス、極テ收斂ノ味アリ、水ニ溶ケ

易シ、
功能 酷厲腐蝕毒アリ、外用中量ナレハ、腐藥

タリ、十五分二十分ヲ内用スレハ、胃痛、胃、
ヲ發シテ死ス、始メハ腦髓、脊髓機能ヲ亢起ス

レ此、後ニ麻酔ス、刺戟衝動、收斂、外用ノ効安質
母諸製劑ニ同シ、

主治 驅蟲神經痛 癩癩及ヒ文 脚部ノ發汗閉

止ニ續發スル神經痛、又熱ナク、胃腸汚物ナク、

神經感覺過敏ナラサル者ニ用フ、又皮膚、皮膚

病性分泌、舞蹈病、經久不遂ニ用フ、但レ峻毒、品

ナレハ、内用スルニハ、極テ謹慎ナルヘシ、又昇

汞毒ヲ消ス、昇瀆ハ、之ニ由テ還元スレハ、用量

足、錫塩二分ハ、能ク昇瀆一分ノ毒ヲ消ス、

外用 刺戟衝動、慢性皮膚、腫瘍等、一塩酸錫一

分ヲ水二十分至十分ニ溶化シ用フ、能ク動物

天ノ腐敗ヲ防ク、

用法 十六分ハノ一、八分ハノ一、四分ハノ一、

半ハ、朝夕之ヲ用フ、亞的兒溶劑ヲ最モ佳トス、

塩酸錫 一ハ、塩酸亞的兒 一、和ス、始 驅蟲ニ

毎服五滴、一日三四回、徐々ニ增多ス、

一ハ、二ハヲ丸トナシ用フ、外用洗劑、蒸劑ニハ

醋酸斯篤里規尼 第四百四十品

單純斯篤里規尼ヲ、醋酸ニ溶シ、水氣ヲ蒸散ス

ル者ナリ、

白色ノ粉末ニテ、極テ苦シ、

水ニ溶ル、醋酸ニ三滴ヲ加スレバ、最モ溶ケ易

シ、亞爾菌兒ニ溶ケ易シ、

麻痺、微毒骨痛ニ内用、又賢埴兒麻質トナス、黒

内障ニハ、點眼水トナス、

用法 内用、十六分ルノ一、八分ルノ一、賢埴兒

麻質ニハ、六分ルノ一、點眼水ニハ、二分ヲ錫水

四錢ニ溶ク、一日二三回、眼中ニ點ス、

沃實涅酸斯篤里規尼 第四百四十一品

沃實涅酸斯篤里規尼

沃實涅水素酸斯篤里規尼、

ニ塩共ニ白色ナリ、冷水ニ溶ケ難ク、沸湯、亞爾

菌兒ニハ溶ケ易シ、

峻カノ劑ニシテ、麻痺ニ効アリ、之ヲ獸類ニ試ム

ルニ大毒アリ、

用法 每服十六分ルノ一、八分ルノ一、一日二

回、甲品八分ルノ一、五分ルノ一、乙品

賢埴兒麻質ニハ五分ルノ一、一分、

塩酸斯篤里規尼 第四百四十二品

斯篤里規尼ヲ塩酸ニテ溶ヌ者ナリ、水ニ溶ケ

易シ、醫用ニ供スルニ極テ少ナシ、

分量 十二分ハノ一、四分ハノ一、賢埴兒麻質

ニハ、六分ハノ一、一分ハノ一

硝酸斯篤里規尼 第四百四十三品

斯篤里規尼ヲ硝酸ニ溶カスナリ、

無色、側面光輝アル針ナリ、極テ苦シ、

温湯、亞爾箇兒ニ溶ケ易ク、冷水ニハ少シク溶

久、亞的兒ニハ溶ケス、

斯篤里規尼諸製劑中、最モ多ク内外施用スル

所ナリ、

麻痺、神經痛、顔面痛、眼瞼麻痺、眼球膨腫、癩癩、陰
萎、膽汁下利ニ効アリ、其功能ク久シク保持ス、
分量 十二分ハノ一、四分ハノ一、賢埴兒麻質
ニハ、六分ハノ一、一分ハノ一

硫酸斯篤里規尼 第四百四十四品

斯篤里規尼ヲ硫酸ニ溶スナリ、

大畧水十分、亞爾箇兒ニ溶ク、

最モ運化神經ニ功アリ、腦ノ機能ヲ害スルニ

ナシ、麻痺ニハ賢埴兒麻質トス、又下脛ニ種入

レ、黒内障ヲ治ス、總テ知覺運動神經ノ局部麻

痲ニテ腦髓脊髓ニ障害ナキ諸症ニ用フ

分量 每服十二分ハノ一、四分ハノ一、賢埵兜

麻質ニハ、六分ハノ一、一分

麝香根 第四百四十五品

其根販尙スル者二種アリ、一ハ全根ナリ、一ハ

根材ヲ横斷スル三四寸中徑ノ扁平ナル者ナ

リ、烈香麝香ニ似タリ、其味峻苦ニシテ泥葛ノ如

シ、

成分 少許ノ亞的皂油アリテ麝香ニ似タリ、

無色ノ拔爾撒謨ト、二種ノ酸全酸、亞酸ヲ含ム、芳香

ナル華爾斯蠟樣質、苦味分、植物粘液ト植性酸
ヲ含ム者、越謨、澱粉、塩類、膠質、等、

其形葉根ノ如シ、新鮮ノ者ハ、必ス葉根大ナル

ヘシ、乾ケル小根ハ、中徑一二寸アリ、全根ノ者

多シ、又大ナル者ハ、之ニ二三倍ス、則テ横斷ス

ル者、中徑三四寸ニテ、厚サ一二寸ノ扁平ナリ、

扁平ノ面ニハ、汚白色ノ華爾斯質、粉末附着ス、

是レ乳液ノ乾固スル者ナリ、多少汚穢ニシテ、微

黄、暗褐相交ル、外面土色ナリ、其上部中位ハ、稍

隆起セル輪線アリテ、各々平等ニ相隔リ、下部

ニハ線理少カシ、縁側ニハ刺毛状ノ纖維アリ、根柢極テ堅實ナリ、内部帶黃白色、海面狀、又纖維狀ナリ、數様ノ方向ナル空隙アリ、隙ノ内面ニ附著スル者、扁平ノ面ニ在ル者ト同シ、全部一種ノ麝香氣ヲ帶フ、根五斤ヨリ、麝香根亞酸、不淨ノ者ニ彘、清淨ノ者ニ彘半ヲ得ヘシ、又別ニ麝香根全酸ト稱スル者アリ、其集合窒素ヲ脱ス、功能 衝動、爽神、神経系ヲ活潑ニス、殊ニ腹部神經叢、脊髓ヲ衝動シ、消化機ヲ盛ニス、呼吸ヲ

疾ニス、血行ヲ速カニス、物質交代ヲ進メ、下利ヲ止メ、門脈系ノ機能ヲ盛ニス、以テ膽液分泌ヲ增多シ、諸器ノ病性分泌過多ヲ減ス、但レ連用スルモ、閉止スルトナシ、主治 神經熱、殊ニ其神經期、神經機能亢盛諸症、慢性神經病、腹部知覺運動神經病、舞蹈病、酒容譫妄、胃勞虚性痙攣ノ續症、膀胱麻痹、遺尿、尿閉、泄瀉、流行性古列刺亞細亞古列刺姑息法、又根治法、神經熱快復期、嘔吐、痲痺性尿崩、硬結性尿崩、消耗熱ヲ兼ル者、膏骨疽膿化ノ末期ニ少シク患者ノ景況ヲ復

ス、又衰弱甚レキ經久瘵ニ連用ス、曾テ神經叢
及ヒ脊髓神經症ノ患者ニ之ヲ與ヘテ、久シク
閉止セル痔血ヲ通セルコトアリ、又水腫、勞瘵ニ
効アリ、

用法 根末半刃一刃、或ハ更ニ多ク用ス、一日
二三回、

浸劑 根 四錢 水 四十錢 每二三時ニ一食匙、

水煎劑、酒浸劑、每二三時ニ一食匙、

亞的兒製丁幾劑、每三四時十五滴、二十五滴、

越幾斯劑、每用五、八、十、

大口魚肝油舍利別 第四百五十三品

肝油 十分 亞刺比亞越謨 六分 常水 十五分 糖舍利

別 五分 糖 三分

又方 亞刺比亞越謨 五十分 水 同量 漿トナシ、磁

器ニ入レ、肝油 百分ヲ和シ、薄荷油 四分 右調勻

乳劑トナシ、後亞刺比亞越謨舍利別 八十分ヲ和

ス、總テ肝油ヲ用フヘキ諸症、皆之ヲ用フヘシ、

用法 一日四錢至八錢、單用或ハ芳香浸劑ヲ

和シ稀ク用ス、又或ハ同量ノ陳舊赤酒ヲ和ス、

單寧酸 第四百六十一品

收斂藥草ノ最有力分ナリ、没食子ヲ亞的兒ニ
 テ屢煮製ス、阿仙藥單寧ハ、没食子單寧トハ、其
 含密性自ラ異ナリ、甲ハ効力劣レリ、
 白色、淡白、或ハ稍帶綠白ナリ、脆ニノ華爾斯ノ
 如シ、無臭、極テ收斂甚キ味アリ、酸素ヲ引ケ
 ハ没食酸トナル、
 水ニ溶ケ易ク、亞爾菌兒、亞的兒ニ溶ケ難シ、
 功能 有力ノ單收斂ナリ、動物膠ハ之ニ由テ
 粘液質ニ變シ、卵白ハ沉殿ス、濃ナル者ヲ皮上
 ニ貼スレハ、表皮剝離シ、痂ヲ生ス、中量十ル至
二十ル

ヲ服スレハ、食道灼クカ如キ疼痛ヲ發シ、硬固
 ナル便秘ヲ生ス、其功能ク血中、尿中ニ達ス、
 主治 總テ強力收斂ヲ要スル者、皆之ヲ用フ
 ヘシ、尋常單寧ヲ含ムノ諸品ニ勝レテ遠シ、其
 最モ効アルノ症ハ、虚性子宮出血、白帶下、肺及
 ヒ氣管慢性粘液勞、咯血、下利、經久白帶下、尿崩
 全身惡液、勞瘵ノ脱汗ニハ、阿芙蓉ヲ配用ス、間
 歇熱ヲ治スルヘテ、硫酸規尼ノ如シ、勞瘵ニハ食
 塩同量、每一時各一ルヲ用フ、百日咳咳嗽已ニ
減少ニ專
 強壯ヲ要スル者、則其第三期ニ最モ効
 リ、又驅蟲藥トス、又儀膜咽喉焮衝ニ用フ、

外用 慢性眼焮衝、淋疾、白帶下、子宮頸、膿潰、
 蟻蟲注、肛門ニ慢性腸焮衝ニハ灌腸法トス、咽喉
 焮衝ニハ含嗽劑トス、又止血劑トス、齒痛ニハ
 先ツ炭酸曹達溶水ニテ、口内ヲ洗ヒ清ク、齒齦
 ヲ清潔ニシ、後次方少許ヲ齒間ニ附ス、
 方 單寧 一〇 銀密陀 五〇 亞的兒 二〇 右調勻、
 綿ニ浸シ施ス、又亞爾加里諸塩ノ毒ヲ消解ス
 ルノ妙効アリ、殊ニ斯篤里規尼、莫爾比涅諸塩
 銅、鉛、安質母諸塩毒ヲ消ス、
 用法 半〇、六〇、至二〇八、一日數回、水、酒、粘滑

煎汁ニ溶シ用フ、又散或ハ丸トナス、外用ニ注入
 法 一、二、月、水、三、四、十、軟膏 刀、至、一、錢、指、鼻血ニ
 或酒ニ和用ス、
 ハ嗅末トス、

蒲桃蔓越幾斯 第四百八十三品

成分 最ナル者ハ單寧、酒石酸ナリ、越幾斯ハ
 味酸且ツ苦ナリ、
 出血、又膀胱、癩癩、汗疹ニ賞用ス、
 内用 每服トハ二十〇、一日三四至六回、
 外用 水十二分ニ溶キ、洗劑トス、
 蒲桃花 第四百八十四品

成分 最ナル者、亞的兒油

功能 芳香、爽神、殊ニ脊髓神經、神經叢ヲ衝動

ス、

主治 下肢麻痺、不遂、腦及ヒ神經叢ノ機能ヲ

感ニス、

用法 浸劑、蒲桃花四錢ヲ、水六十ニ浸出カ、

又泡劑トス、

醋酸亞鉛 第四百八十五品

炭酸亞鉛ヲ、精醋酸ニ溶シ、水氣ヲ蒸散シテ、結

晶セシム、

水ニ溶ク易ク、亞爾菌兒ニ溶ケ難シ、

功能 皓礬ニ同シクノ緩ナリ、酸化亞鉛ト皓

礬トノ中間品ナリ、其量五八トハナレハ、速カ

ニ吐ヲ發ス、收斂、鎮痙、衝動

主治 腦患、謔妄、腦病ニ交感スル下利、其氏醋

ヲ、鐵性何芙蓉ト名ツケ、顏面羅斯ニ發スル謔

妄、腹部神經症、舞蹈病

外用 粘液漏泄、眼焮衝、聖京候性、腺病性、微毒

性耳漏疼痛已ニ去ル者、又淋疾ニハ、尿道ニ注

入ス、又微毒、瘰癧、皮焮衝

用法 強壯ニハ半匁、一匁四匁、一日二三四九
 或ハ溶劑トス、下利ニハ一匁半、亞刺比亞蘆蓆
 八匁ヲ和シ、水六十八匁ニ溶シ、每一時、半食匙
 至一食匙、吐劑ニハ每服十匁、二十匁、耳内、尿道
 ニ注入スルニハ、八匁至十匁、水三十二匁、至四
 十八匁ニ和シ、一ニノ粘液ヲ和ス、點眼水ニハ
 半匁、三匁、水或ハ蕃
糖水八匁ヲ和ス、
 耳内注入方 醋酸亞鉛 半匁 加塞列水 六十二
四匁
 溶シ、阿芙蓉丁幾 一匁 木醋 一匁 或
 勻ス、

ラデマセル氏製法 精製結晶硫酸亞鉛、醋酸
 鉛各等 右各別ニ蒸餾水温ナル者十分ニ溶和シ、
 此ニ溶液ヲ能ク混合シ、温テ沉澱ヲ取ル、其澄
 液中、尚鉛分ヲ含ム片ハ、黑色ノ沉澱ヲ生ス、硫化水素尾
 斯ヲ觸レシムヘシ、水氣ヲ蒸散スレハ、醋酸塩
 結晶スルナリ、
 醋酸鐵亞鉛 第四百八十六品
 鐵青酸利篤亞斯溶液ヲ硫酸亞鉛溶液ニ和シ
 洗ヒ乾カレ、沉澱セシメ取ルナリ、
 白色無味ノ粉末ナリ、

水及ヒ亞爾菌兒ニ溶ケス、

功能 恐ラクハ功ナシ、或ハ之アルモ極テ微

ナリ、青酸ノ功ナシ、或ハ曰、衝動、鎮痙ナリト、

主治 慢性痙攣、小兒癲癇、生齒、又蟲病ニ續發

スル者、舞踏病、胃痙、百日咳、喘息、生齒痙攣、夢魘、

外用 腺毒、瘰癧質、眼嗽、衝等、

用法 每服半匁、三匁、一日二三回、漸クニ增加

ス、散或ハ丸トナス、

點眼水 十匁至三十匁ヲ、水八錢至十六錢ニ

溶化ス、

塩酸亞鉛 第四百八十九品

炭酸亞鉛ヲ、塩酸ニ溶化シ、水氣ヲ蒸散ス、

白色ナリ、收發ニハ、酸様鑛味アリ、卵白膠ニ和

スレハ、溶化ニ難キ集合トナル、故ニ此類ヲ含

メレ液ニ和スレハ、沈澱ヲ生ス、

水、亞爾菌兒、亞的兒ニ溶ク、

功能 外用スレハ、大ニ刺戟ス、稀ハレハ、解疑

腐蝕ス、動物體ニ觸レハ、水、卵白膠質ヲ奪ヒ去

リ、其力深ク竅透シテ、刺痛ヲ發シ、侵蝕シテ厚

キ白痂ヲ結フ、其痂五六日ニテ剝脱シ、良膿ヲ

醸、速カニ斑痕トナル、
 内用スレハ、峻力ノ收斂劑ナリ、補給營養ノ機
 能ヲ一變ニ、分泌ヲ增多シ、又過度ノ排泄ヲ減
 節シ、尿通ヲ增多ス、大量二ハナレハ、忽チ胃瘵
 嘔吐、懊惱、苦悶、脈細數、短息、冷汗、眩暈、搖擗ヲ發
 ス、
 主治 諸般ノ惡液病ニ内外施用ス、例之諸般
 ノ微毒症、原發微毒腫瘍、泡核尚存スル者ニハ、
 直チニ半ハヲ泡上ニ貼シ、毒ヲ消滅ス、腫瘍已
 ニ發生スル者ニハ、腐藥トス、包皮緊搾スル者

ニハ、溶液ヲ包皮ト龜頭トノ間ニ注入ス、包皮
 外翻シテ、寒瘰疽狀ナル者ニハ、強溶液ヲ用テ、
 便毒ニハ、軟膏豆大ヲ塗入スルヲ、一日二三回
 次ヲ發スル所ノ皮膚赤色ハ、冷水湯法ヲ施ス、
 淋疾嫩衝盛ナル者ニハ、溶劑塩酸莫尔比
 莖圍ヲ蒸漏ス、膀胱、辜丸、副辜、陰囊等ノ嫩衝ニ
 ハ、軟膏ヲ塗入ス、眼嫩衝粘液漏泄、微毒性結膜
 嫩衝ニハ、溶劑ヲ眼中ニ點入、一ハ、水三十二
滴ス、又泥トナシ、錢大ノ布片ニ攤シ、顛額
 ニ貼シ、軟膏ヲ眼瞼上下ニ塗入シ、溶劑ニテ眼

上ヨリ蒸漏ス、後淋ニハ溶劑ヲ尿道ニ注入ス、慢性急性淋疾、白帶下ニハ溶劑ニ莫爾比涅ヲ和シ施ス、續發又交感徵毒諸症、經久咽喉腫、微毒疹、皮膚疹、贅肉、皮腫ニハ軟膏、洗劑、蒸劑、含嗽劑トス、又三ハヲ水ハ或ニ溶カシ、玫瑰蜜ヲ和シ、腫瘍ニ塗ル、凡ソ微毒諸症ニ、外用兼リ之ヲ内用ス、

内用ハ神經諸病、總テ亞鉛筆ヲ用フヘキ症、老人ノ腹水、癩癩、其原腹部神經、脊髓機能ヲ錯マルニ由ル者、舞蹈病、顏面痛、青酸ヲ凡ソ神經病

ニ用フルニハ、塩酸亞的兒ニ和ス、一ハ二ニ或ニ和シ、四時

毎ニ五滴ヲ用ス、

外用ハ、癰腫、腺腫、腺硬結、惡液腫、膝蓋、白腫、頑癬、腺毒、頑癬、慢性皮膚疹、癩病、疥癬、汗疹、環癬、結節癩、腹部靜脈瘤、腫瘍、軟膏少許ヲ腫瘍ノ靜脈ニ塗

ナリ、疹ヲ發スルニ至ル、一日ニ三四回、赤色トス、腫瘍ニハ更ニ稀溶液ヲ以テ滋潤セシム、

靜脈瘤、軟膏、或ハ泥、膏藥ト海綿腫、血腫、又骨疽ヨリ發スル齒痛ニ妙効アリ、外氣ニ觸テ、融化スル者ハ、稀メスノ、單ニ筆ニ浸シ、綿ニテ纏フタル齒ニ貼シ、後微温湯ヲ以テ含嗽ス、

用法 每服二十分凡ノ一、四分凡ノ一、一分凡ノ一、
 日四回、蒸餾水、或ハ亞的兒ニ溶解ス、二凡ニ塩
 酸一滴ヲ注ケハ、能ク其腐蝕ノ性ヲ脱ス、外用
 ハ一凡、二凡、六凡ヲ蒸餾水八匁ニ溶シ、塩酸一
 滴ニ至三滴ヲ和シ、洗劑、蒸劑、注入劑トナス、軟膏
 一匁、至四匁、脂八匁ニ和ス、或ハ塩酸半匁、至四
 匁ヲ和レ製ス、
 泥ハ、塩酸亞鉛一分、粉末、或ハ糊三分、至水適宜
 ノ和ス、四方アリ、
 第一方 塩酸亞鉛一分、粉末一分

第二方 塩酸亞鉛一分、粉末二分
 第三方 塩酸亞鉛一分、粉末三分
 第四方 塩酸亞鉛一分、安質母酪各一分、粉末一分
 右共ニ水適宜ヲ和レ製ス、泥劑ハ表皮剝離セ
 ル部ニ貼ス、愈創、結痂ヲ促カスノ法トス、

新藥百品考初編卷之下 終

越中佐渡三良先生著

和蘭藥性歌

全二冊

東京野井芳洲先生譯

醫療新書

全三冊

倉次元意先生譯

眼科摘要

全部九冊

近刻

時醫法眼松本先生藏板

解剖羅旬語加類多 骨部

西洋風雨入

山内氏藏板

英語可留多

漢字和譯附

洞海林健卿譯補

穴篤兒藥性論

全部十八冊

侍醫西々學教頭蘭疇松本良順誌

隱士 樂齋山内豐城校閱補註

養生法全三冊

玄端杉田先生譯

健全學

全部六冊

作樂戶知鸞先生譯編

西洋英傑傳

全六冊

河津陳四郎先生校正

大學東校恒太郎石黒先生譯

廣藥鑒法

全一冊

大學東校補中末田先生譯補
袖珍藥說 全三冊

大學東校恒太郎石黒先生譯
藥品溶解表 一校一摺

大學東校石黒先生譯述
化學訓蒙 全十冊

大學醫學校北獨養氏
日講記聞 全十冊 冊數不定

大學東校
日講記聞 全十冊 冊數不定

大學東校田代先生譯述
切斷要法 全一冊

百太郎佐藤先生譯
大平海新報 冊數不定

基五十川先生譯
林戰要錄 全三冊

菱湖卷先生書
三體千字文 四帖

箕作少博士譯
英語手引草

滿斯歇兒蕪氏口授
官板病理畧論

全三冊

大學東校學舍用鑄
中助教久我克剛先生述
官版痘龜鑑

全一冊

石黑忠惠先生譯述
虎烈刺論

全一冊

銅鑄萬國地圖



大學東校
官版御用所

西洋醫書

東京馬喰町三丁目

發兌書林 英蘭堂 鳴村屋利助

終